

防災行動計画検討部会の報告

多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用

- ◆ 岡山三川多機関連携型タイムラインは、令和3年度出水期において**4回運用**し、**メーリングリストやポータルサイトを**活用した**情報共有**を実施。
- ◆ **出水対応におけるスムーズな連携**や、**令和3年度の出水対応を踏まえたタイムラインの改善**に向けて、**タイムライン検討会**を**3回**、**読合せ訓練****1回**実施。

タイムラインの運用状況

運用時期	要因	タイムラインバル
5月20日～	前線性降雨	レベル1
7月2日～	前線性降雨	レベル0-2
8月5日～	台風第9号、前線性降雨	レベル2 (旭川:レベル4)
9月15日～	台風第14号	レベル1

水害タイムライン検討会等の実施状況

検討会・訓練	実施内容
出水期に向けた検討会(R3.7.2)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 構成機関の顔合わせ ✓ 実対応を想定した情報伝達方法の確認
読合せ訓練(R3.9.10)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ タイムライン運用方法の確認 ✓ 重要防災行動項目の確認
振返り検討会(R4.1.25)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 令和3年度の出水期を振返り ✓ タイムライン運用上の課題や改善策に関する意見交換
改善検討会(R4.1.25)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 令和3年度の出水の課題と改善の方向性 ✓ タイムラインの改善(意見交換)

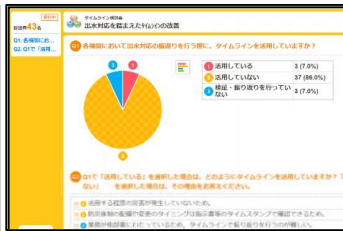
検討会・訓練は、コロナ禍を踏まえWeb会議で開催し、防災行動共有システムを活用した読合せや、リアルタイムアンケートを活用した意見交換を実施



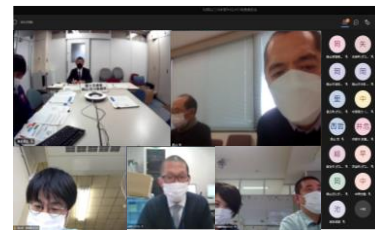
タイムライン発動時におけるポータルサイトマルチ画面の様子(R3.8.14)



読合せ訓練の様子(防災行動共有システムを活用)



振返り検討会の様子(リアルタイムアンケートを活用)



改善検討会の様子(改善案について意見交換)

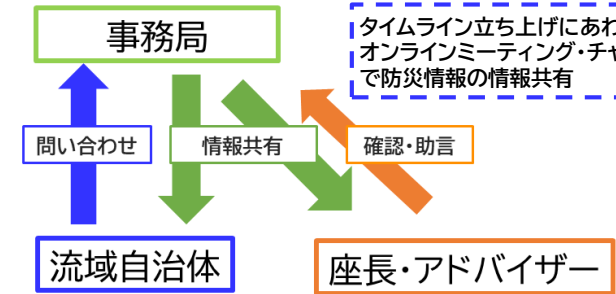
令和3年度運用の課題

- ① タイムライン運用方法が不明瞭になっている
 - タイムライン発動と共有の目的が理解できていない
 - 防災計画等とタイムラインの整合が取れていない
- ② 運用時に使いづらいタイムラインになっている
 - タイムラインでの防災行動が一部部署となっているため、組織全体として使いづらい
- ③ 運用時の連携がおろそかになっている
 - 余力がない、作業が重複するなどにより、タイムラインによる情報共有が行えない

改善の方向性

- ① 意思決定、危機感の共有方法の改善
 - ◆ オンライン会議等の試行(新規)
 - ◆ 情報共有項目と自機関行動確認項目の差別化(今後検討)
- ② 各機関の防災計画等とタイムラインの整合
 - ◆ 各機関の防災計画等をタイムラインへ反映(継続)
 - ◆ 各機関タイムラインの作成支援(新規)
 - ◆ 行動内容毎タイムライン作成試行(新規)
- ③ 運用時の情報共有の改善
 - ◆ Lアラート情報の表示による入力簡素化(新規)

オンライン会議等の試行イメージ



行動内容毎タイムライン作成試行のイメージ

行動項目	《ステージ1 情報収集》		《ステージ2 体制構築》	
	目安時期：発災の2日～半日程度前		目安時期：発災の半日～8時間程度前	
水防活動の準備・実施	1-14	行動 観測機器の確認		
	1-15	行動 防災施設の確認・点検		
	1-16	行動 防災資機材の確認・確保	2-37	行動 防災資機材の確認・確保
	1-17	行動 災害時優先電話の使用確認		
		2-38	行動 対応職員の状態・食料等の確認・調達*	
		2-39	行動 水防活動に向けた人員・機材の待機	3-
		2-40	行動 中央監視装置で施設・水質・水量・施設計測値の監視	3-
		2-41	行動 車両の配車調整・準備	3-
		2-42	行動 水防活動の実施	3-

行動項目に対する防災行動項目を各レベルごとに関連付けて横並びに記載することにより、行動の開始・終了時期を分かりやすくする。

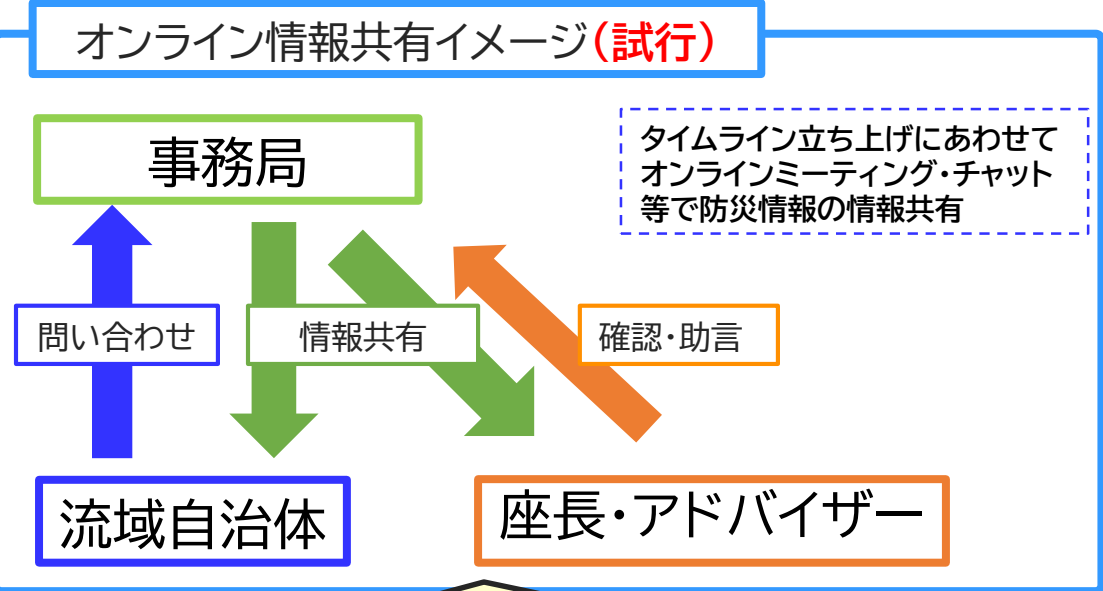
Lアラート情報による入力簡素化のイメージ

水害タイムライン防災行動共有システム				岡山県						
気象台	河川事務所	緊急対策事務所	国道事務所	岡山県土木部	新成羽川ダム(電力)	小阪部川ダム	危機管理課	土木部	備中県民局	総務局

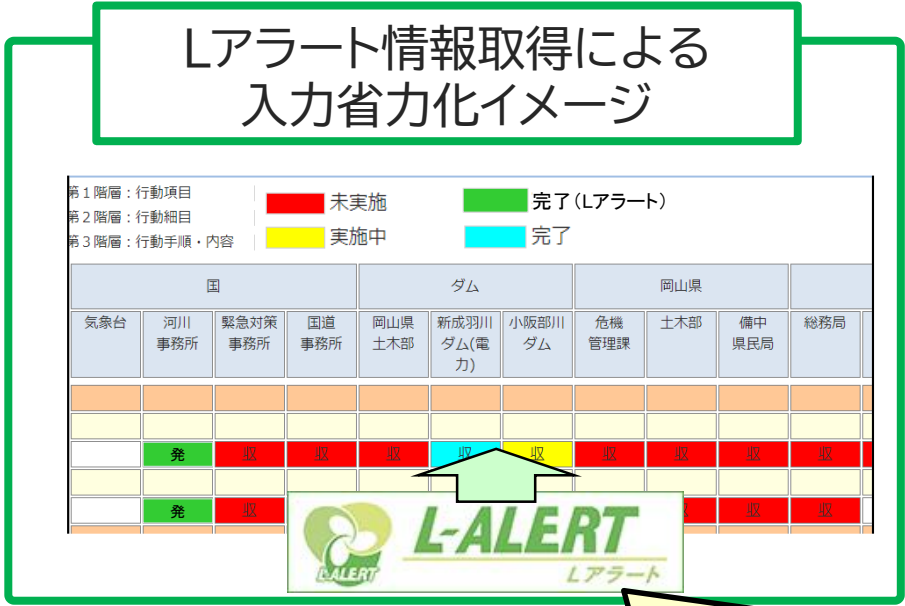
Lアラートから取得可能な防災行動項目の実施状況を取得、自動的に登録することにより、入力作業の簡素化を図る。(現在は全て手入力による登録)

L-ALERT Lアラート

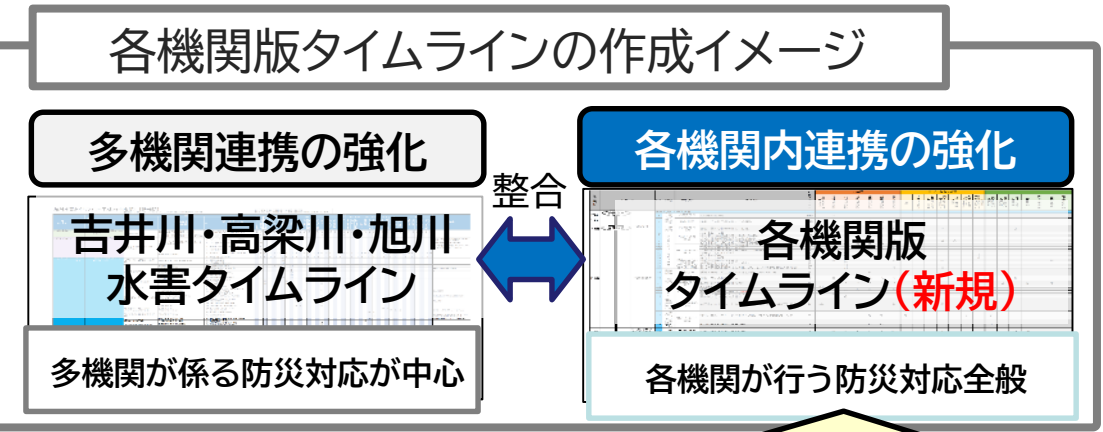
参考：多機関連携型タイムラインの改善イメージ



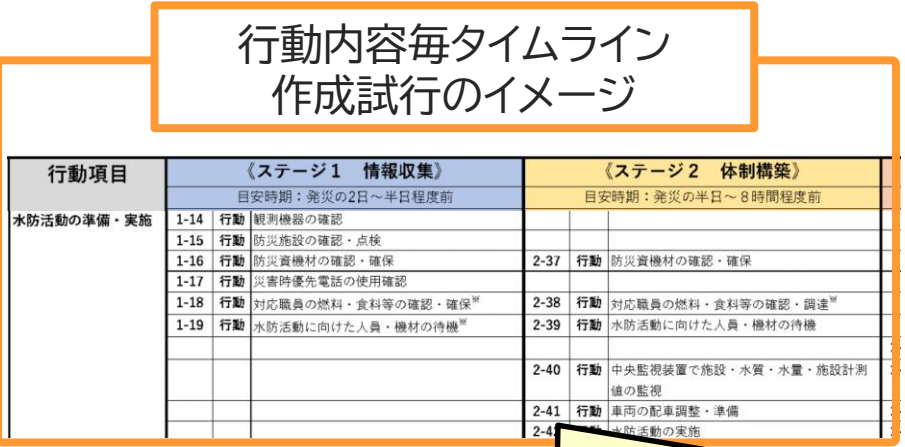
台風や大雨に対する危機感を共有、
出水対応に向けた防災対応・日程感の意思統一・意思疎通



防災行動共有システムにおいてLアラートで
取得可能な防災行動は自動で登録し共有



各機関が行う防災対応全般を整理した各機関版タイムライン
を作成することで、使いやすいタイムラインへ



タイムラインレベル0から5まで一連で行動項目の内容が
把握しやすくなる「総括表」形式の整理

多機関連携型タイムラインの今後の予定

◆ 岡山三川多機関連携型タイムラインは、今後も運用・振り返り・改善(PDCAサイクル)を繰り返す、被害の軽減、逃げ遅れゼロに向けたスパイラルアップを図る。

改善


タイムラインを改善の改善の方向性について確認し、次期出水期に備える。



改善検討会

振り返り・教訓の抽出

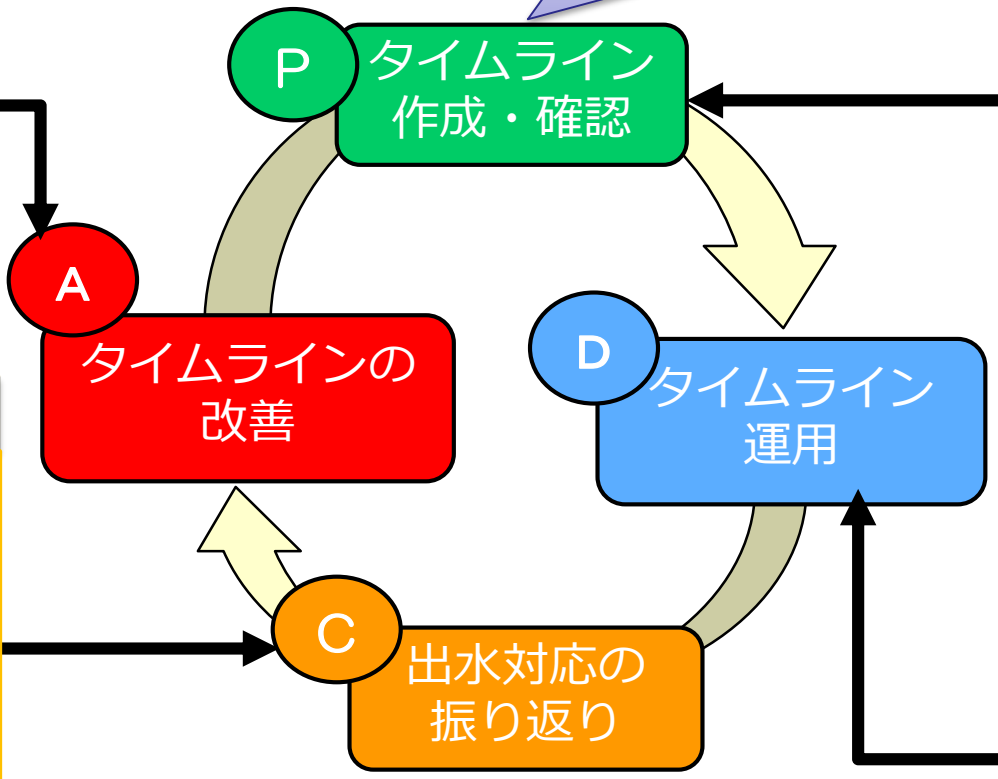
タイムラインの運用状況やアンケート結果から、出水対応の教訓やタイムラインの改善点を洗い出す。



項目	数	割合
① 適用している	3	7.0%
② 適用していない	37	88.0%
③ 検証・振り返りを行っていない	3	7.0%


振り返り検討会

令和4年度の出水期前に
 検討会を開催予定



出水期に向けた意思統一

タイムラインの改善内容、運用方法を確認し、出水期に向けた意思統一を図る。



出主意統一検討会、読合せ訓練

タイムラインの実運用

タイムライン発動・レベル移行、関係機関間の情報共有により、タイムラインを運用する



ポータルサイトによる情報収集
 防災行動共有による情報共有
 オンライン会議等の試行